

2019 / 秋 / No.110

来ぶらり

# レポート・ 卒論攻略

## 「最強のガイドブック」 のススメ



レポートや卒論は  
情報収集が  
成功の9割!!

# 例えば、テーマに合った資料が見つからなくて困ったら .....

「最強のガイドブック」を開いて、基本的な資料の探し方をまず確認しましょう！

- ・すぐに役立つ！
- ・図やイラストが多くてわかりやすい！
- ・見開き1ページで完結！
- ・薄くて持ち歩きに便利！

最強の

## 2 1番大事な情報収集のキホン I

レポート・卒論を書くにあたって大切なのは、**情報収集**です。膨大な情報の中から、自分にとって必要な情報を効率的に探すコツを学びましょう。テーマに合った情報が見つかったらそれを整理し、足りなければ収集し直します。

### 図書・雑誌・雑誌論文の違い

探し方が異なるので注意！

**図書**

**雑誌**

**雑誌論文**

1冊の雑誌の中に、複数の論文が掲載されています

レポートや卒論を書くときは、図書だけではなく、雑誌論文も探ることが大切です。

〈雑誌論文の特徴〉

- 最新の研究成果がわかる
- 構成や言い回しのお手本になる
- トピックが凝縮されているので、短時間で読むことができる

### 資料の探し方

**図書**  
 GLIM/OPAC  
 学内約190万冊から探せる  
 (ワンクリックで他大学の蔵書も探せる！)

- ◇図書◇
- 辞書・事典
- 新聞(縮刷版)
- 統計書・人物・企業情報
- ◇雑誌◇

**雑誌論文**  
 図書館で契約している雑誌論文データベース

- CiNii Articles (日本語)
- JSTOR (外国語)
- EBSCOhost (外国語)
- Academic Search Premier (外国語)
- など

**マメ知識**  
 他にもこんなデータベースが使えます！  
 新聞記事(全文) / 辞書・事典(本文) / 統計データ / 人物情報 / 企業情報(本文) など → p.28-29 参照

**COLUMN**  
 誰から聞く? どこで見つける?  
 情報の探し方には、他にもいろいろな方法があります。

- ◆人から: 先生・先輩・友達から
- ◆実際に図書館の書棚を見ながら
- ◆引用・参考文献リストから: p.14 参照

### GLIM / OPAC へのアクセス方法 (図書・雑誌の探し方)

① 大学図書館 HP から

② G-Port から

③ モバイル版、アプリ版から p.32 参照

次ページ上 (図書・雑誌の探し方) へつづく

---

### 各種データベースへのアクセス方法 (例: CiNii Articles (雑誌論文の探し方))

大学図書館 HP から  
 ・個人向けサービス (My GLIM)  
 ・所蔵新聞リスト  
 ・博士論文リスト  
 ・学内図書館と漢国書目録

大学在籍者限定  
 オンラインデータベース (学内データベースNAVY)

アクセス方法の詳細は p.22 参照

次ページ下 (雑誌論文の探し方) へつづく

私の担当するゼミでは、図書館スタッフの方をお願いして、毎年必ず全員(私も含む)で文献検索の講習を受けています。講習内容は心理学の文献探しに特化した形でのオーダーメイド。「最強のガイドブック」が教科書です。ガイドブックは例年最新の内容に改訂されていて信頼感も十分。おかげさまでゼミのメンバー各自が関心を持って取り組む研究テーマに合う文献をしっかりと探すことができます。



心理学科 今井先生



レポート作成の都度、お世話になっています

学生



学生

これ一冊で資料探しの基礎がわかるので、とても便利です



Web版「最強のガイドブック」はこちらからアクセス



このような役立つコラムも掲載されています！

レポートテーマにあう図書がない! ~目次・あらすじの検索をしたいときは?~

GLIM/OPACは、残念ながら目次やあらすじ情報の検索はできません。(表示のみは可能です。p.8参照)

「アセロラ」についての情報を探しているとき、「アセロラ」というタイトルの本はなくても、「熱帯フルーツ」という本の中にアセロラについて書かれている章があるかもしれません。図書の目次やあらすじを含めて検索したい場合は、全国の大学図書館を一度に検索できる Webcat Plus (p.28参照) を利用しましょう。

この「最強のガイドブック」は、図書館内各所で配布しているほか、大学図書館 Web サイトでも電子版を公開しています。困った時には自宅からでもどこでも参照することができます。

## 学外書庫資料が GLIM/OPAC から取り寄せできるようになりました！

今夏、大学図書館の書庫資料の多くを学外の書庫に預けました。学外書庫の資料は、GLIM/OPAC から 24 時間いつでも取り寄せ申請ができます。対象は、配置場所に「学外庫・書庫」と表示されている資料です。また、禁帯出資料も取り寄せることができます（取り寄せ後、館内にて閲覧となり貸出はできません）。是非ご利用下さい。

**OPAC 表示例**

配置場所  
学外庫・書庫  
(哲学科)

No.	配置場所	請求記号	巻号	状態	返却予定日	予約	資料ID
0001	学外庫・書庫 (哲学科)	Asewa/75		利用可能		予約	TN011870141

こちらをクリック！



## 本棚の記憶、 記憶の本棚

英語英米文化学科 教授  
田辺 千景 先生

昭和 50 年代のことです。平日はほぼ毎日午前様、土曜は接待ゴルフ、休暇は年末年始に数日程度だった私の父のモーレツな仕事ぶりも、当時はそんなに珍しいことではなかったかと思えます。そんな父と小学生だった私の数少ない接点は、日曜日になると近所の図書館まで散歩がてら一緒に出かけることでした。いつも日曜日が待ち遠しかったのは、次の本が借りられるからだだったのか、それとも道中でアイスやお菓子を買ってもらえるからだだったのか。ともあれ、今でも本に囲まれることは、私にとって子供時代のあたたかい記憶とつながっています。



なぜこの本があの本の隣に？自分でもわかりません



四半世紀前、ワクワクしながら先生の御宅に辞書をいただきに上がったときの記憶がよみがえります

翻って私の研究室の本棚ですが、ご覧の通りカオスです。唯一秩序が保たれているのは辞書コーナーですが、CD-ROM やネットが発達してしまい、完全に無用の長物となってしまいました。それでも手放せないのは、大学院時代にこの高価な辞書 (OED) を先生がくじ引きで院生 1 名にお譲りくださるというドリームジャンボな企画があり、見事私が当選してしまった、という物語があるからなのです。溢れる本棚をトキメキで片づけようとしても、こんな風に思い入れのある本が陣取っていて、新しい本は段ボールに詰められた状態となっています。本はすべて本棚に並べること——令和元年の目標です。

来ぶらり No.110 2019年 10月23日

学習院大学図書館 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

発行責任者：鈴木亘教授 編集委員：内藤沙織・藤本智美・町田洋子

1階貸出・返却カウンター (内線 2397)：☎ 03-5992-1009(直通) 2階レファレンスカウンター (内線2395・2396)：☎ 03-5992-9249(直通)

「来ぶらり」のバックナンバーは (<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/about/publication.html>) で公開しています。

ISSN 2186-6724